

## 第46回 今回はITTOの講師さんに話を聞いてきました!

今回インタビューをするのはITTO個別指導学院上本郷駅前校で2019年春から講師をしている林真佐斗さん。

地元の小学校を卒業後、私立中高一貫校を経て、現在は某国立大学教育学部に在籍している。

**Q**なぜ塾講師になろうと思ったのですか？

**A**私は現在教員資格取得を目指しており、将来は学校の先生になることが目標です。ですので、学生のうちに子どもとの接し方や授業の方法を学びたくて、講師になろうと思いました。

**Q**塾講師として勤務した感想は？

**A**実際に勤務するまでは、塾講師の仕事は生徒が分からないところを教えるだけの簡単で楽な仕事だと考えていました。ですが実際は、生徒それぞれに応じたカリキュラムや目標を考えて授業を組み立てることから始める責任のある大変な仕事でした。佐藤教室長のフォローもあり、なんとかやってこれました。1年たった今では、教室長のフォローなしでも、生徒の成績を上げる指導や管理のやり方

が随分と把握できました。その結果として、生徒たちの成績も上がるこが増え、喜びの声をよく聞くようになりました。こうした生徒たちの喜ぶ姿を見ると、自分のことのようにうれしく思い、今では、非常にやりがいのある仕事だと感じています。

**Q**塾講師の仕事を経て、身についたことは何ですか？

**A**周りを見る力がついたらと、実感しています。当校では、先生1人／生徒3人のスタンダードプランをとる生徒がほとんどです。このプランは1人を教えている間、他2人は問題を解くことになります。本来なら問題を解く生徒にも目を配る必要があるのですが、当初は教えている生徒しか見えなかったことがありました。こうした私の視野の狭さに佐藤教室長は具体的な改善策を示してくれました。そのおかげで、今では自然に担当の生徒全員を意識しながら授業をすることが出来ています。このことは将来学校で授業をするときには必要なスキルだと思っています。

**Q**塾講師という仕事をお勧めしたいですか？

**A**はい。特に子ども好きな人にお勧めしたいです。何故なら、子ども好きな人は進んで生徒とコミュニケーションをしていくので、どんな指導や管理が必要なのか分かってきます。だから、子ども好きな人は生徒に最適なカリキュラムを作成しやすい人と言えるので、塾講師に向いていると思います。ぜひ子ども好きな人は、ITTOの塾講師をやってみて下さい。とてもお勧めです！

### ■教室長より一言

講師として働き始めたころの林講師は、やる気が空回りして一人の生徒に集中して教えすぎてしまう講師でした。教えてあげただけではわかった気になるものの「できる」ようになりません。そこで、林講師には「客観的に自分を見ること」と「短い言葉で的確に伝わる言葉」を意識してもらいました。その結果、周りを見ることができるようになりました。ランスのいい授業ができています。将来、教師を志望していなかったとしても、この二つのスキルはどの仕事であっても必要なものだと思っています。なので、ぜひ、スキルを身に着けた方は一緒に働きましょう。